

講演会 & ライブ な日々 ⑰

古川 秀明

おじいちゃん

何年か前に「おばあちゃん」という歌を作った。
なぜか大学生に評判が良かった。

この頃は離婚率も高く、共働き家庭も多いので、おばあちゃんにお世話になった子ども達が思ったよりたくさんいることも関係しているのかもしれない。

この歌を聴いて、幼い時のおばあちゃんとの思い出がよみがえったようだ。

「おばあちゃんに謝りたいことがある」
「今思うと、おばあちゃんにひどいわがまを言ったことが自分が恥ずかしい」
「もっと優しくしてあげたら良かった・・・」

こんな感想をもらうとこっちも嬉しい。

だがしかし、ここで大きく立ち上がる壁ができた。

それはおじいちゃんからのクレームだった。

「なんでばあさんばかりなんや」

「ワシも孫の面倒みたぞ」

「おばあちゃんがあるならおじいちゃんも作るべきだ」

それはそうかもしれないと思い、すぐに作ろうとがんばったのだが、なぜか言葉もメロディーも浮かんでこない。

浮かんでくるのは音頭ばかりだった。

「クッソクソクソクソジジィ〜クソジジ音頭でクッソクソ〜」

こんな歌を歌ったら、世界中のおじいちゃんを敵に回すことになる。

これはいけない、早く作らねばならない・・・と思いながら8年くらい過ぎた。

そして今年の10月にやっと完成した！

やった〜！

早速バンドメンバーに聴かせて、歌ってもらおう事にした。

が、しかし・・・、誰も歌ってくれない。

理由は簡単、音域が広すぎて声が出ないのだ。

仕方なくボツにしようと思ったが、なんか気に入ってしまったので、誰も歌えないのなら自分で歌うことにした。

初披露は地域の福祉センター。

ここならおじいちゃんやおばあちゃんもたくさん来られるから、この歌の初披露うってつけた。



ライブ当日は快晴！
初披露には文句なしの雲ひとつない青空だ。



会場には主催者の予想を上回る人が来て下さり、立ち見も出た。
これはありがたいな。
私は自信たっぷりに新曲「おじいちゃん」を歌った。

歌が終わると会場の一番前で聴いていたおじいさんが「ワシに死ねと言う歌やな！」と言い捨てて立ち去って行った。

主催者の方は「認知症を患ってらっしゃる方なので、どうぞお気になさらないでください」と仰ってくださったが、気になるぞ。

へこむ私をみなさんが慰めて下さるが、バンドメンバーの表情も暗い。
歌詞には誰かを傷つけるような内容はないし、認知症を患っておられるのなら仕方のないことだが、なんか気が晴れない。

もう歌う気がしない。やっぱりこの歌はボツになる運命だったのだろう。

そんなことを思いながら、ある地域の中学校で講演会&ライブの依頼があった。
「おじいちゃん」を歌いたくない自分と、もう一度歌いたい自分がいた。

そして歌う事にした。

今度はあの時とは全く違う、嬉しい反応だった。

講演会やライブは生きものだ。

この会場では成功しても、他の会場では上手くいかないこともある。

めげずに続けることは大事なことだと思う。

で、めげずにがんばりますよ。

昭和20年代～40年代生まれの方の回想法も兼ねたライブです。

「おじいちゃん」も歌うので是非お越し下さいませ。

ふるかわひであきクリスマスライブ2018

元気の出るライブです

今年は地震と台風でうちのボロ家がボロボロ家になりましたが、私は生きています。今回、講演会はありませんが、その分たっぷりと歌で楽しんで頂きます。オリジナルの新曲やお子様からお年寄りまで楽しんで頂けるカバー曲など、ありとあらゆる音楽で皆様に楽しんで頂きます。

日時：2018年12月16日（日）

PM 2:15～4:30(受付 2:00 から)

会場：京都市こどもみらい館

演奏：ふるかわひであきとザ・ポリフォニーズ

券種：大人1500円 中学生以下1000円

(当日券は2000円。未就学児は無料)

定員：100名(先着順で締め切ります)

申込方法：①TEL ☎573-1146 大阪府枚方市牧野阪 1-22-6 古川秀明宛

②Fax 072-866-2685

③メール vontom2008@yahoo.co.jp

上記いずれかにて「12月16日ライブ参加希望」と書き、住所、氏名、電話番号、チケットの券種と枚数を書いてお送りください。折り返し、チケットと会場までの地図を郵送します。(※申込後1週間経っても返信のない場合は恐れ入りますが再度ご連絡ください)

ふるかわ家族カウンセリング研究所©



対人援助マガジン読者の皆様、
ご来場をこころからお待ちしております。

シンガーソングカウンセラー
ふるかわひであき